



私の国際交流 — My International exchange experience —



英語を使うことから 始まる国際交流

宮田 悦子さん VOL.07

私の国際交流は、学生時代の「アジア太平洋子ども会議」から始まりました。来日した子どもたちがホームステイする数日間、ワークショップなどを手伝うボランティアです。このとき、学校で習う英語だけでは子ども相手にさえ会話がままならないことを痛感しました。卒業後、地元に戻った際には国際交流協会の英語劇「S.E.E.D.S」に参加しました。会話中心である劇の台詞を覚えたことが、その後に生きる貴重な経験になりました。



来日した子どもたちと交流する学生時代の宮田さん

数年後に大阪で働くことになり、海外からの研修生や技能実習生を受け入れる手続きや来日後のお世話を担当しました。ここでも書類関係に必要な英語よりも、研修生たちとの日常会話に難しさを感じました。その後、仕事のついででシンガポールへ渡り、10年近くを過ごす中で、知人の紹介で「日本語文化継承学校」に勤め始めました。日本にルーツを持つ海外在住の子どもたちに、日本語や日本文化を教える学校です。そこでは日本語を「学習言語」だけでなく「使用言語」として教えています。それは私が日本の学校の英語教育に足りないと感じていることでもあります。

私には小学6年の娘がいます。彼女は人生の大半を外国で過ごしていて、内子や愛媛の限られた側面しか知りません。そこで1年ほど前から「内子町外国語ガイドの会」に親子で入会し、内子の歴史や文化を学んでいます。皆さんから内子について教わることは、私たち親子にとっての国際交流であり、娘の異文化理解の時間でもあります。少しずつ観光客が戻りつつあるので、これからは学んだことをアウトプットする機会を増やしたいです。交流を通して娘にも外国人観光客の皆さんにも、内子を好きになってほしいです。

活動レポート

色鮮やかな壁絵アートに挑戦

国際理解講座が11月25日、内子自治センターで開かれ、16人が参加しました。今回は講師のトップマンさんに南アフリカの「ンデベレ族」に伝わる壁絵を教わりました。ンデベレ族は家の壁に幾何学模様を描いて物語を表しているそうです。参加者はエコバッグに思い思いの色使いで壁絵を描いて楽しみました。



図書館 へ 行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
FAX 0893(44)4167
🌐 <https://www.town.uchiko.ehime.jp/>
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：月曜日・月末整理日・
年末年始

●大人の絵本セラピー講座

大人が楽しめる絵本セラピーを開きます。絵本を読んでもらいながら、癒やしの時間を過ごしませんか。参加希望の人は図書情報館までご連絡ください。

▽日時 1月21日(土)、2月11日(土)、3月25日(土) / 午前10時～11時

▽講師 寺岡知恵さん

●冬の読書マラソン開催中

今年度最後の読書マラソンです。読書で頭と心のトレーニングをしませんか。規定の冊数を読んだ人には記念品を贈ります。

▽期間 1月29日(日)まで

●1月企画展のご案内
▽読書感想画展
読書感想画は、本を読んで感

じたことや心に浮かんだイメージなどを、絵で表現するものです。町内の小中学生の作品を2階ギャラリーに展示しています。

「おはなし会」

▽土曜日・午後2時～

1月7日 むしこまど

14日 むしこまど

21日 むしこまど

28日 どんぐり会

「文学講座」

▽1月14日(土) 午前10時～

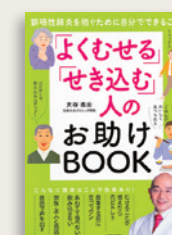
▽内容 『紫式部日記』を読む
でみよう

▽講師 村山洋子さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣️一般図書



「よくむせる」「せき込む」人の助けBOOK 大谷義夫／著
よくむせたり、せき込んだりするのは喉の老化のサイン。道具なしでできる「のどトレ」など、誤嚥性肺炎にならないための生活術を紹介する



寿命が尽きるか、金が尽きるか、それが問題だ こかじさら／著
高齢の両親と叔父叔母を介護する私。わがまま、逆ギレ、能天気、人任せ……。常識も理屈も通用しない4人との奮闘の日々をつづったエッセイ



花札を初めてやる人の本 大石天狗堂／監修
さまざまな遊び方がある花札。初心者に向けて、定番の「花合わせ」や2人でできる「こいこい」などの遊び方をイラスト付きで分かりやすく解説する

♥️児童図書



おせちのみんなあつまって！ 真珠まりこ／作・絵
くろめさん、くりきんとんちゃん、こぶまきくん。おせち料理の仲間たちが重箱に入っていく楽しいしかけ絵本。おせち料理の由来も紹介



それで、いい！ 礪みゆき／作、はたこうしろう／絵
絵を描くのが大好きなきつね。「みんなが驚く、すごい絵を描くんだ」と意気込むうちに、あんなに楽しかった絵がだんだん描けなくなって……



手で見るぼくの世界は 檜崎茜／作、酒井以／装画・挿絵
視覚支援学校に通う佑は、ある事件で学校に来られなくなった双葉に会うため、白杖の訓練に挑む。葛藤を乗り越え一歩を踏み出す2人の物語